

## 令和4年度 横浜栄高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、職務規律の徹底）	法令等を遵守する意識の向上を図り、公務外非行等を防止する。	①校長は職員行動指針及び神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針（倫理指針）の周知・徹底に努めた。 ②校長は職員と面接を行い、法令遵守意識の向上を図った。 ③不祥事防止研修・職員打合せを通じて法令や服務規律を遵守する意識の向上を図った。 ①～③により目標は概ね達成された。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員の人権尊重の意識を醸成し、職場でのハラスメント行為を未然に防止する。	①不祥事防止研修を通じて意識啓発を行い、ハラスメントの未然防止を図った。 ②管理職は職員からの相談に真摯に応じることや、個別面談でていねいに対応することでハラスメントの未然防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権を尊重する立場に立った指導を行い、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	①不祥事防止研修を通じて意識啓発を行うとともに、管理職が校内を日常的に巡視し、わいせつ・セクハラの未然防止を図った。 ②所掌グループが研修を実施し、教育実習生も含めて当事者意識の醸成を図ってわいせつ・セクハラの未然防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
体罰・不適切な指導の防止	人権を尊重する立場に立った指導を行い、体罰、不適切指導を未然に防止する。	①不祥事防止研修を通じて意識啓発を行うとともに、管理職が校内を日常的に巡視し、体罰等の未然防止を図った。 ②所掌グループが研修を実施して当事者意識の醸成を図り、体罰・不適切な指導の未然防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜における公平・公正さを意識し、事故のない選抜業務を遂行する。	①不祥事防止研修を通じて入学者選抜における事故の重大性について認識し、業務に臨む心構えを確認した。 ②業務マニュアルをもとに研修を行い、手順を全職員で確認した。 ③管理職は採点が誤りなく行われるよう手順の周知や指導を徹底して行った。 ①～③により目標は概ね達成された。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理・定期試験実施・進路関係書類作成における事故防止を図る。	①所掌グループが研修を実施してデータの処理や扱いについて全職員が手順を確認し、正確な資料作成を行って事故防止を図った。 ②学校推薦においては資料の確認を複数人で行うことを徹底し、事故防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止するとともに、公文書の適切な管理に努める。	①所掌グループが情報セキュリティ対策に係る研修を実施し、情報の適正な管理について理解を深めた。 ②不祥事防止研修を通じて個人情報の取扱い手順を確認し、適切な管理を心掛けて事故防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
会計事務等の適正執行	私費は生徒・保護者から委託された財産であるという意識を持ち、私費に関わる事故を未然に防止する。	①会計担当者を対象に諸帳簿の作成、現金の管理等について研修を行い、予算案に基づいた適切な執行管理に努めた。 ②所掌グループが私費の取扱いに係る研修を実施し、私費会計処理について理解を深め、事故防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底し、交通事故を未然に防止する。	①不祥事防止研修や朝の打合せを通じて交通法規遵守の意識向上を図った。 ②横浜南地区交通安全大会に参加して情報を共有し、交通安全に対する意識の向上を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

令和4年度は、様々な研修をその所掌グループが主体となって準備をし、職員が参加することで不祥事防止の意識向上に努めてきた。特に問題となる事項はなかったが、「何もなかったから、現状のままでよい」という意識ではなく、不祥事防止のため「更に改善できることはないか」という視点で、令和5年度も取り組んでいきたい。